

<山紫水明の京都>チーム

『チマキザサ再生プロジェクト』

笹の里親活動はじめます！

日時：H22年3月20日(土) 午後1時～4時
(受付0時30分～ 第6回定例会議終了は5時)

参加無料

場所：京都市御池創生館・地階研修室 (京都市中京区御池通柳馬場東入)

第一部<1:00～1:30> 定例公開 mini フォーラム

『チマキザサ再生プロジェクト』についての発表
発表者：<山紫水明の京都>チーム、他

第二部<1:30～4:00> 参加者の皆様と<山紫水明の京都>チームの意見交換会

<1:30～4:15>他の12議題チームがチーム会議を行います、傍聴いただけます。
<4:15～5:00>第6回定例会議の全体会議を行います、傍聴いただけます。

定例公開 mini フォーラムは、毎月の定例会議の冒頭に開催される公開フォーラムとして、3月から8月まで開催します。初回の3月は<山紫水明の京都>チームが自ら取り組むテーマで開催します。

フォーラム終了後は、第二部の意見交換会にもご参加下さい。また、会場内ではそれぞれに独自のテーマを持つ他の12議題チームがチーム会議を行っていますので、各チームの議論にも傍聴ご参加ください。
(詳しくは、会場にてご案内します)



フォーラムの概要は裏面をご覧ください

▼参加申込：会場準備のため、ご参加連絡をお願いします。(ご連絡なくとも自由にお越し下さい)
この用紙のまま下記運営事務局へFAXして下さい。または、同内容でEmailをお送り下さい。

お名前：	所属等：
連絡先 (Email/Tel等・任意)：	
同伴者名：	

下記本委員会HPでは随時情報を更新しています。お知らせと共に、これまでの活動記録や成果をご覧ください。

「山紫水明の京都」チームの活動発表

京都は、山々に囲まれ水の恵みに溢れた美しいまちです。しかし、山とまちとの関わりが少なくなり、人の手が入らないことによって山が荒れてしまい、名水や豊かな自然が姿を消しているのが現状です。

そこで、「山紫水明の京都」チームは、京都市内外の様々な交流を通して「山紫水明の京都」を守り育てていくための、様々なポジティブな仕組みをつくり、発信することをテーマに活動を始めました。

2009 年は鴨川源流の視察や安祥寺山での間伐ワークショップ参加などの体験とともに、勉強とミーティングを重ねてきました。2010 年は、これらの成果として生まれた活動提案をベースに、京都の山々と、まちの人々をつなげるべく、実際に行動を起こしていきます！

今回みなさまに呼びかけるプロジェクトは、まちにおける京都の伝統文化と山の生態系とのつながりを考え、まちの人も含めてその保全に参加する、「山紫水明の京都市的」取り組みの第一弾です。

『チマキザサ再生プロジェクト』 笹の里親活動はじめます！

祇園祭で授与される厄除けの粽。その原材料である笹は京都市北部の山間部で採取され、良好な品質から、京都の和菓子などにも使用されています。いま、その笹が絶滅の危機に瀕しています。

笹は 100 年に一度花を咲かせて種子を残して枯れ、種子が発芽して再び生長をはじめます。ところが、その笹の若芽が野生鹿の食害で育っていません。このままでは笹が絶滅し、祇園祭の粽や京都の和菓子作りに影響が出かねません。

そこで、笹の若芽を山から採取し、まちで育ててから再び山に返す、笹の里親活動をはじめることになりました。京都の伝統と文化を支える大切な笹のピンチをみんなの手で救っていきましょう！

<里親の活動の概要>

京都市北部の花脊又は別所等で採取した笹の地下茎を 1 年間プランターなどの容器で育てます。1 年後に伸びた地下茎を回収し、防鹿対策を施した山に返します。

里親の皆さんとは「里親通信(仮)」で生育情報を交換しあったり、山の現地視察や笹農家との交流などを通して山との関わりを一緒に深めていきたいと考えています。

【注意：笹は生命力が強いため、お庭などには絶対に植えないでください】



《今後のスケジュール》

- | | |
|------------|--------------------------------|
| 2010 年 4 月 | チマキザサ再生プロジェクト始動！（山で笹の若芽を採取します） |
| 5 月頃 | チマキザサ苗配布（育て方説明会同時開催） |
| 夏～秋 | 地元交流イベント |
| 2011 年 春 | チマキザサ再植（育てていただいた笹を山へ植え戻します） |